



大日本塗料株式会社

# 2016年3月期第2四半期 決算説明会

2015年11月25日


(証券コード 4611 東証第一部)

# 目次



I. 会社概要	P. 2
II. 当社の特長	P. 9
III. 決算実績・業績予想	P. 16
IV. 経営戦略	P. 30

# I .会社概要



# 1. 会社概要



会社名	大日本塗料株式会社	Dai Nippon Toryo Company, Limited
本社	大阪市此花区西九条六丁目1番124号	
設立	1929年7月25日	
事業内容	塗料・ジェットインクの製造、販売	
代表者	取締役社長 岩浅 寿二郎	
売上高	73,005百万円	(連結/2015年3月期)
経常利益	4,498百万円	(連結/2015年3月期)
当期純利益	2,756百万円	(連結/2015年3月期)
資本金	8,827百万円	(連結/2015年3月期末)
従業員数	2,174名	(連結/2015年3月期末)
証券コード	4611 東証第一部	

## 2. 沿革



- (株)島津製作所から発祥の日本電池(株)(現(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション)において開発された亜酸化鉛粉錆止塗料を基に、1929年日本電池(株)より分離、独立
- 創業製品「ズボイド」に始まり建築物・構造物の重防食塗料を中心に、日本の塗料技術をリード

1920	'23	'27	'29	'36	'44	'46	'49	'58	'62	'66	'70	'72	'75	'77	'83	'88	2001	'02	'03	'06	'10	'13	'15				
島津源蔵氏(株)島津製作所)は創設した日本電池(株)において、鉛粉製法特許技術を完成	島津源蔵氏の錆止塗料開発の発案に基づき、日本電池(株)において、根岸信氏が亜酸化鉛粉錆止塗料の開発を開始	亜酸化鉛粉錆止塗料「ズボイド」発売、堂島大橋(大阪)の改築塗装工事に採用	日本電池(株)塗料部より分離独立、「鉛粉塗料株式会社」設立(資本金50万円)	阿部ヘイント製造所を買収し大阪工場として操業開始	社名を「大日本塗料株式会社」に改称	旭硝子系列の旭ラッカー製造所を吸収合併し横浜工場として操業開始	茅ヶ崎(神奈川県)に蛍光ネオン管生産工場設立	平塚(神奈川県)に蛍光ネオン管生産工場設立	東京、大阪、京都各証券取引所に上場	大船(神奈川県)に工場建設(現シンロイヒ(株))、特殊蛍光顔料と夜光塗料を生産	小牧(愛知)に塗料工場を建設(現小牧工場)	家庭塗料部門を分離し、サンデーペイント(株)を設立	タイに合弁会社を設立 ※1	シンガポールに合弁会社を設立 ※2	塗装及び環境エンジニアリング部門を分離、日塗エンジニアリング(株)を設立	照明機器事業部門を分離、ニッポ電機(株)を設立(現DNライティング(株))	マレーシアに合弁会社を設立 ※3	大田原(栃木)に塗料工場を建設(横浜工場を売却移転、現那須工場)	自動車、プラスチック塗料に優れた技術を持つ田辺化学工業(株)を吸収合併	中国上海に星田辺化工を設立 ※4	メキシコ合衆国に塗料製造販売会社を設立 ※5	新日鐵化学(株)(現新日鉄住金化学(株))の防食塗料事業を譲受け、日塗化学(株)を設立 ※6	ベトナムに合弁会社を設立 ※6	商号をDNライティング(株)に改称	ダイア蛍光(株)、DNライティング(株)をニッポ電機(株)に吸収合併し、メキシコ合衆国に関西ペイント(株)との合併で販売会社を設立 ※7	粉体塗料製造会社ジャパンパウダー塗料製造(株)を設立	関西ペイント(株)の連結子会社久保孝ペイント(株)と合併で、

# 3. 国内拠点

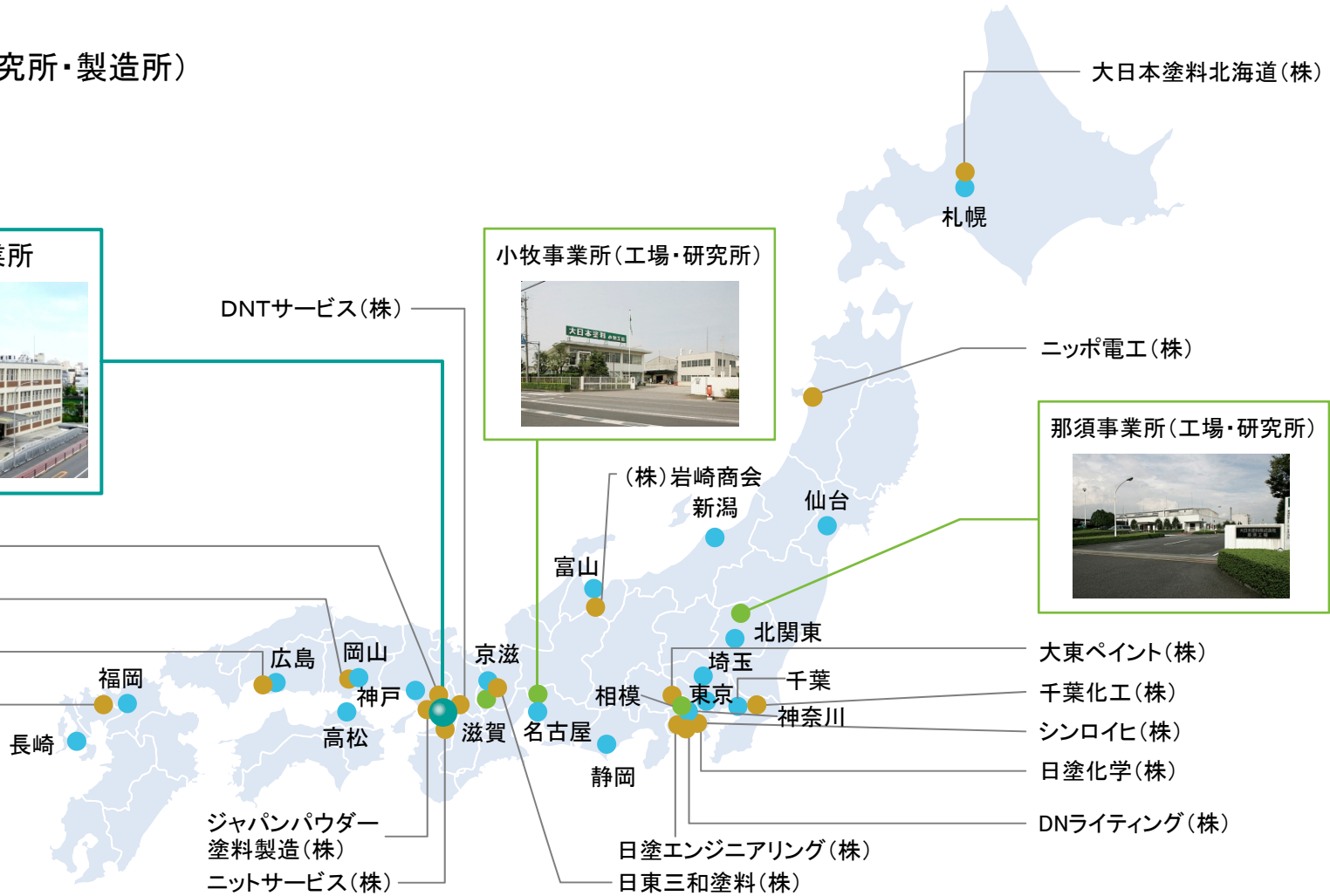


■ 国内24拠点(本社・事業所5拠点、営業所19拠点)、関係会社17社

- 本社
- 事業所(工場・研究所・製造所)
- 営業所
- 関係会社



- サンデーペイント(株)
- 岡山化工(株)
- DNT山陽ケミカル(株)
- ビーオーケミカル(株)



# 4. 海外拠点

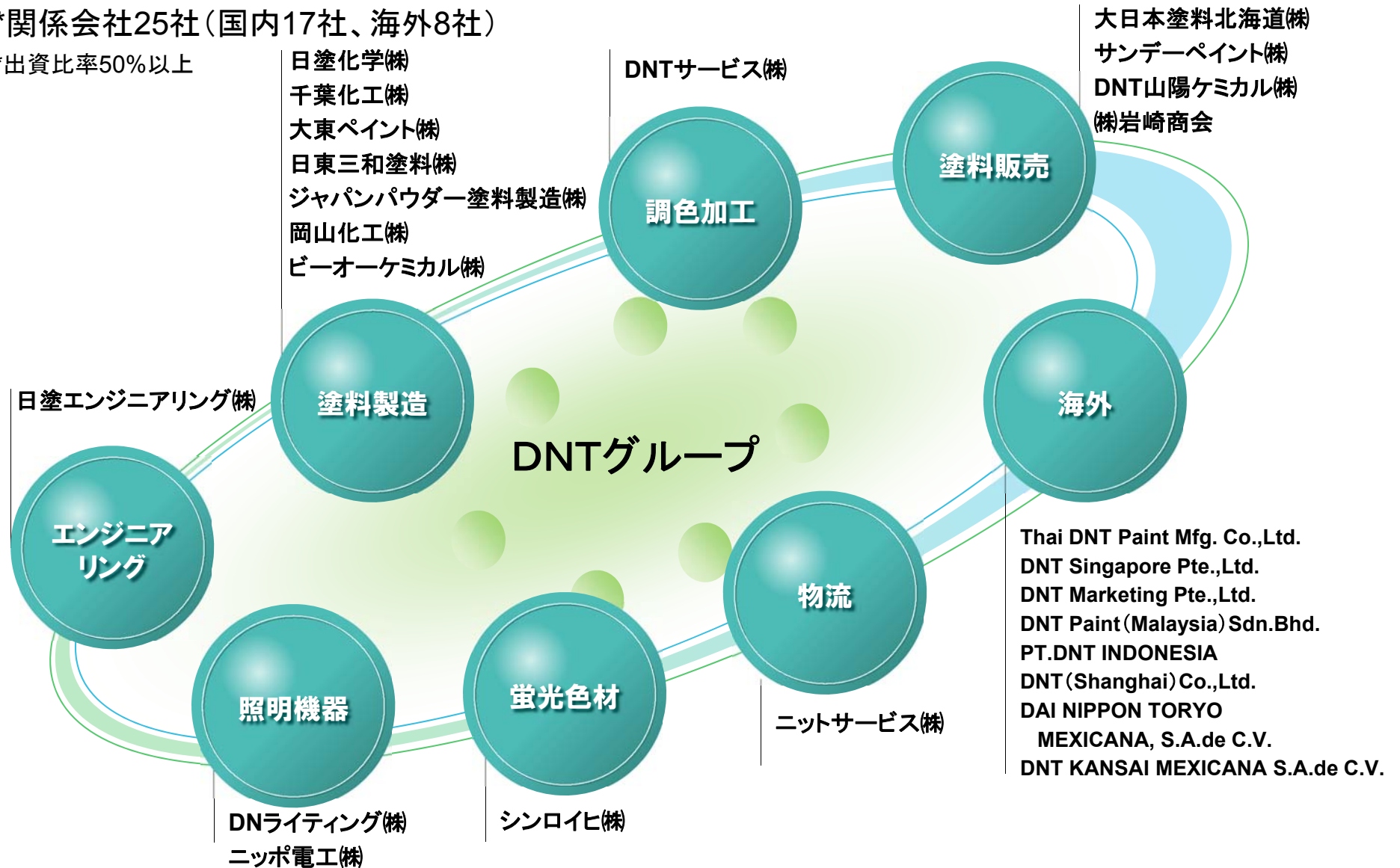
## ■ 海外10拠点（海外工場 6拠点）



# 5. DNTグループ概要



- \*関係会社25社(国内17社、海外8社)
- \*出資比率50%以上





## 6. 事業構成

- 国内塗料は重防食塗料(構造物塗料)を中心に、建材、金属焼付(カーテンウォール)に強み
- 海外塗料は海外事業拡大プロジェクトにより売上増
- 業務用照明機器、蛍光色材においては国内No.1

### 海外塗料

- 自動車・プラスチック塗料
- 金属焼付塗料
- 車輻及び産業機械塗料
- 構造物塗料
- 建築塗料
- 建材塗料



### 照明機器

DNライティング(株)／ニッポ電工(株)  
- 主に業務用照明機器



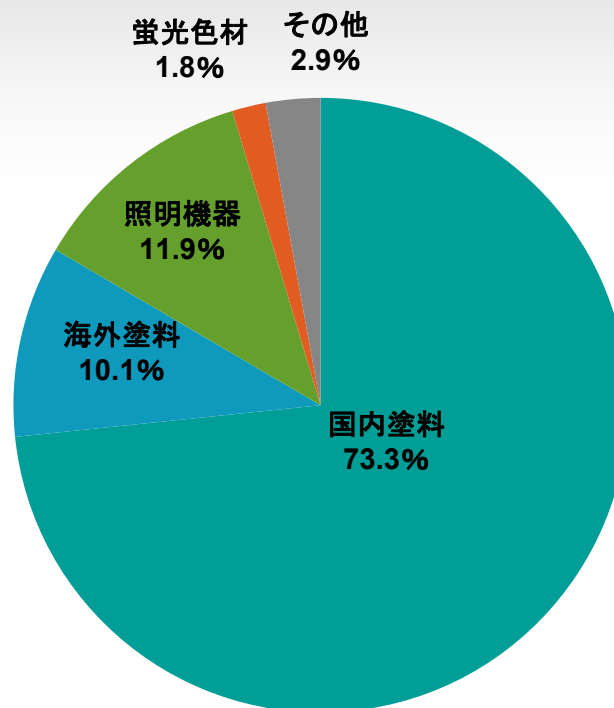
### 蛍光色材

シンロイヒ(株)  
- 蛍光塗料・反射塗料



### 売上構成

(連結:2016年3月期2Q 378億円)



### 国内塗料

- 構造物塗料
- 建築塗料
- 建材塗料
- 金属焼付塗料
- 車輻及び産業機械塗料
- 自動車・プラスチック塗料
- 自動車補修塗料
- ジェットインク等



### その他

日塗エンジニアリング(株)  
- エンジニアリング  
ニットサービス(株)  
- 物流



## Ⅱ. 当社の特長

# 1. 国内塗料事業(1)商品力と顧客基盤



- 下塗りから上塗りまでを当社塗料で完結できるトータルシステムの提供で最適な塗装仕様を実現
- 新築時から塗り替え(維持・補修)時まで塗装物のライフサイクルをカバーするビジネスモデルにより確立した強固な顧客基盤

## 技術力に裏打ちされた商品力

下塗りから上塗りまでを当社塗料で完結可能なシステムを提供

### 構造物

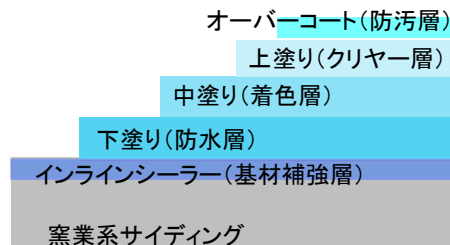
超耐久性塗装システム:  
VフロンHBシリーズ  
DNT水性重防食システム

### 建材

インラインシーラーから  
オーバーコートまで  
当社仕様による

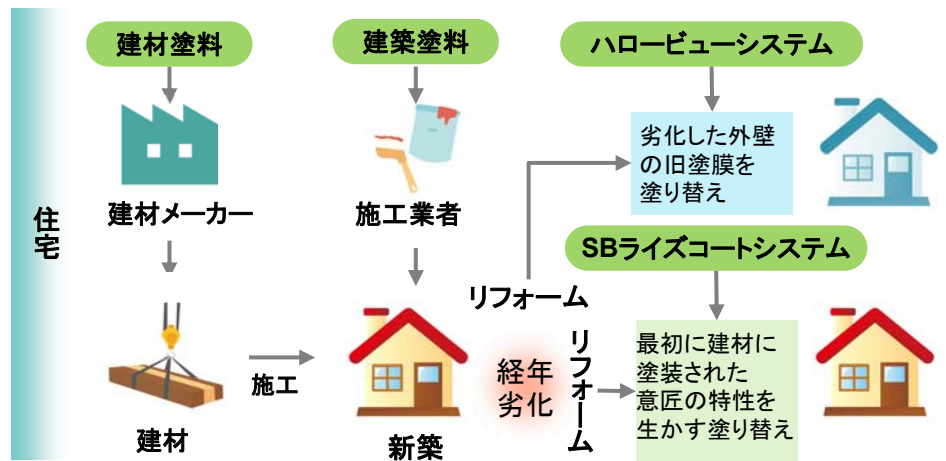
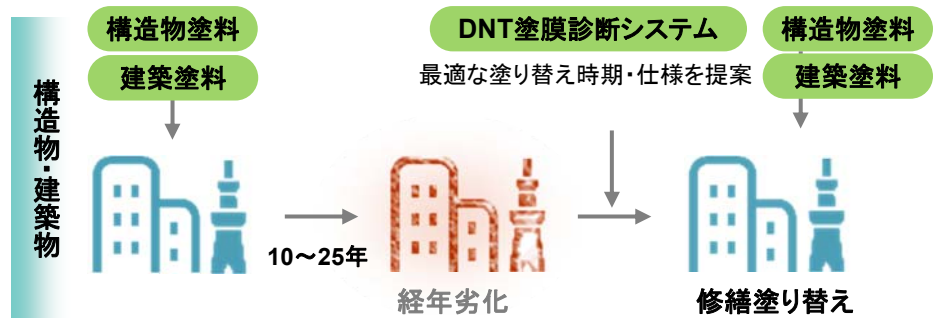
- 高い品質水準維持のために下塗りから上塗りまで、最適な塗装仕様を提供

「塗装システム」として提案・提供 シーラーからオーバーコートまで取扱い



## 新築から塗り替えまで一貫したビジネスモデル

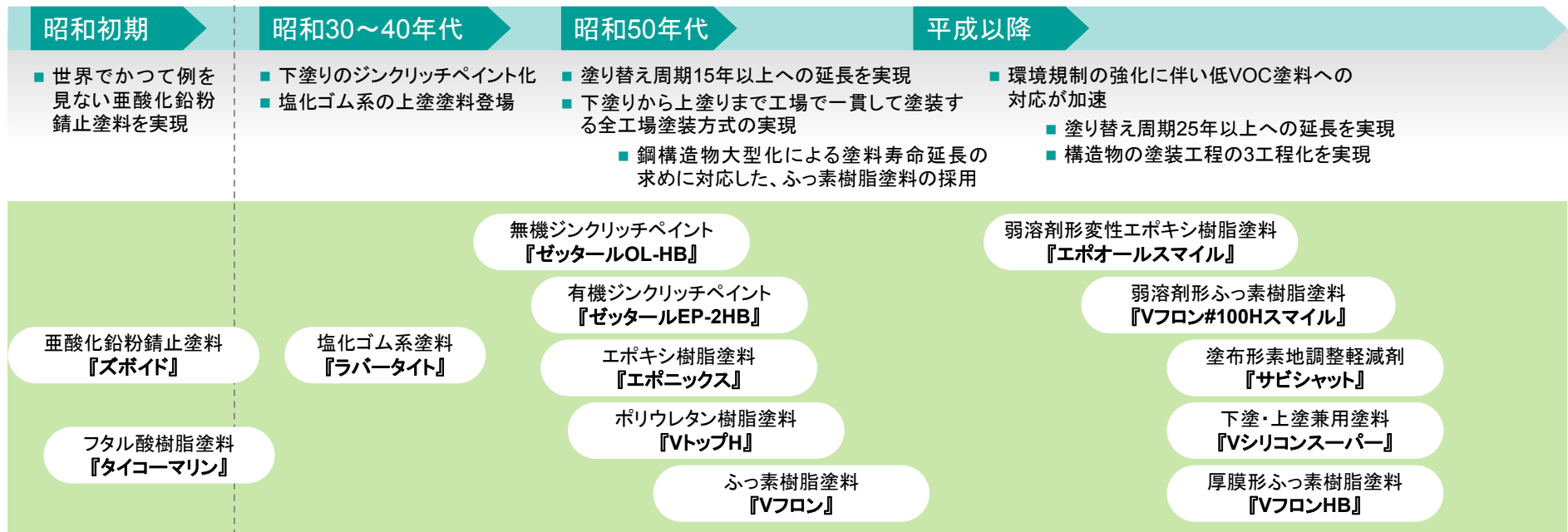
多様なサービス・品揃えにより塗装物のライフサイクルをカバー



# 1. 国内塗料事業(2)コア技術としての重防食塗料



- 当社創業以来のコア技術、製品力と技術力に裏打ちされた長年に亘る実績
- 環境に配慮し、塗装工程の短縮、塗り替え周期の長期化を実現する防食技術



堂島大橋(大阪)



若戸大橋(北九州)



本四連絡橋(瀬戸大橋)



沖縄石油備蓄基地



かつしかハープ橋(東京)



明石海峡大橋(兵庫)



女神大橋(長崎)



東京スカイツリー®



東京ゲートブリッジ



里美大橋(茨城)

# 1. 国内塗料事業(3) 建材塗料でトップシェア



- 重防食塗料と並んだコアビジネス、窯業建材用塗料では国内トップシェア(40%)
- 機能性塗料、高耐久性塗料などラインアップも多岐に亘る
- ジェットインクとの組み合わせによる高意匠化技術の展開を図る

## 建材塗料における取組み

### 建材塗料の差別化要件

高耐久性

機能性

高意匠性

1987年9月	K(建材)プロジェクト発足
1993年5月	千葉化工(株)稼働開始 - 建材向け水性塗料の需要増加対応 - 需要地近くの生産拠点

- 建材のライフサイクルにおいて、新築からリフォームまでカバーするビジネスモデルを確立
- プレハブ化時代にプロジェクトを立ち上げ、住宅建設が最も伸長している時代にNo.1シェアを実現
- 鋼板から始まり、窯業系建材として外壁材用の建材塗料も開発

## SBライズコートシステム



- 新築時の建材に塗装された塗料がリフォーム段階に入った時に、高意匠性のある現行意匠(レンガ調など)を生かし、劣化した塗膜の上に「クリアー塗料」を塗布

## 最近の開発技術

高耐久性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長期塗膜保証(15年、20年)を可能とする有機無機複合樹脂</li> <li>■ ふっ素樹脂クリアーの展開</li> </ul>
機能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ セルフクリーニング機能による防汚機能を実現するため、オーバーコート剤、一液親水クリアーを開発</li> </ul>
高意匠性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ジェットインクによる高意匠仕様を確立</li> </ul>

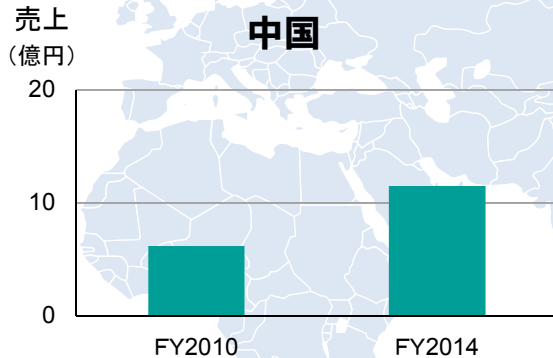
## 2. 海外塗料事業

- 2012年以降、海外での日系企業需要に対応し、海外事業拡大プロジェクトを展開
- 工業用塗料で土台を構築し、得意分野である重防食塗料の海外市場向け製品化を推進

### 中国 2002年設立

主要生産品 重防食用、工業用、自動車部品用、プラスチック用、建築用

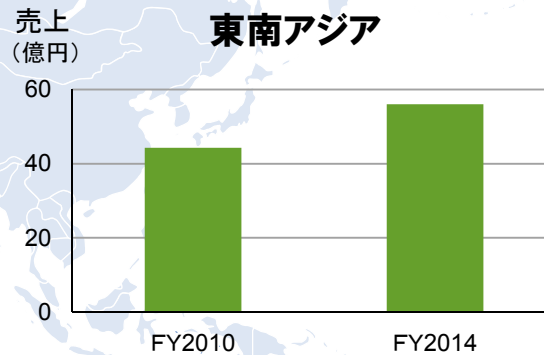
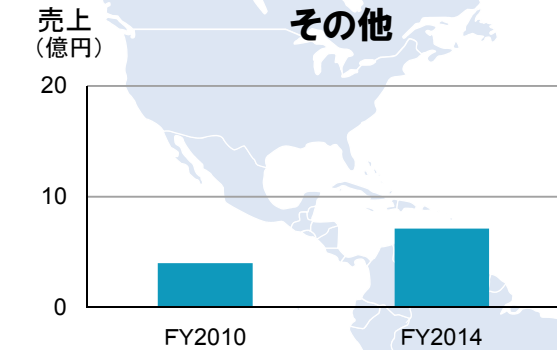
- 品種バランス充実、幅広い分野へ対応
- 自動車部品用塗料中心に工業用事業展開
- 重防食塗料は、日系プロジェクトを中心に展開



### メキシコ 2003年設立

主要生産品 自動車部品用、プラスチック用

- 2013年関西ペイント(株)との合併販売会社を設立
- 日系自動車メーカーの進出に伴い、自動車部品・プラスチック用塗料を中心に事業拡大
- 今後、北米や南米への拡販も視野



### タイ 1970年設立

主要生産品 自動車部品用、プラスチック用、工業用、重防食用、建築用

- 当社海外現法の最大拠点
- 自動車部品を中心に幅広い分野に事業展開
- 現状工業用中心も、今後、重防食塗料にも注力

### シンガポール 1972年設立

主要販売品 建築用、重防食用、工業用

- 東南アジア・インド地域統括及び販売・マーケティング機能
- 地場発信型ビジネスモデル構築
- 地域内製品統合
- 未染手市場開拓
- 2014年販社へ特化、マレーシアジョホール州へ生産集約

### マレーシア 1983年設立

主要生産品 建築用、重防食用、工業用、プラスチック用

- 2014年ジョホール州に新工場設立し、旧シンガポール生産拠点を統合
- 建築用、工業用塗料の生産比率が高い
- 今後、マレーシア他、重防食塗料にも注力

### インドネシア 2001年設立

主要生産品 自動車部品用、プラスチック用、工業用

- 2014年新工場設立、2工場体制
- インドネシアの日系自動車・部品メーカーの進出加速により、塗料需要が拡大
- 現地生産品目を拡大し、事業拡大

### 3. 照明機器事業 (DNライティング(株)・ニッポ電気(株))



- 潜水艦内装用の夜光塗料技術から発展し、高い技術力と商品の完成度が評価され、業務用照明機器の分野で独自の強みを発揮
- 特注品対応、施工などの細やかな顧客対応により、デパート等の店舗照明や高級ブランド店の照明では高いシェアを獲得

#### 建築化照明



- 天井、壁面、屋外など様々なシーンに合わせ、間接光、透過光、直接光などの光の演出により、建築物の特長を損なうことなく空間を演出

#### 店舗照明



- 棚下照明、什器照明、冷蔵ケース照明などの用途ごとに、様々な色温度、配光、サイズ、形状の照明器具を求める設計者やデザイナーの要望に応え、商品をより美しく演出

## 4. 蛍光色材事業(シンロイヒ(株))



- 蛍光色材会社として、蛍光塗料・顔料における圧倒的な国内シェア
- 素材の製造・販売から、特殊な蛍光塗料を使って建物の内外装デザインまで手掛ける

### 防災サイン



- 災害時に非常口などの避難誘導ルートを明確に伝える蛍光塗料

### ヘリポートサイン



- 災害時に効果を発揮する対空表示(ヘリサイン)専用の蛍光塗料

### 捺染、インキ用水性蛍光顔料



- 新たな分野として用途開発を進めている蛍光顔料

### テーマパークコーティング



- 耐候性、耐水性に強い水性アクリル樹脂を使用したデコラティブペイント

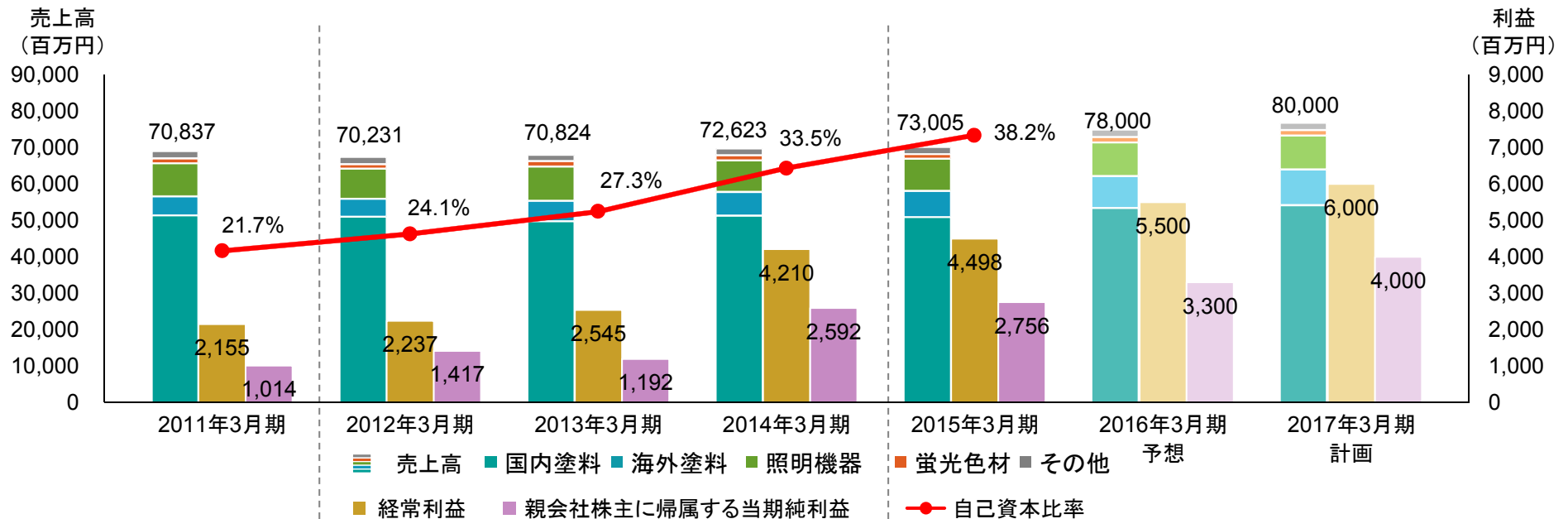


## Ⅲ. 決算実績・業績予想

# 1. 経営成績の概況

## ①売上高・利益推移

### ■ 構造改革を完了し、過去最高益を更新



### 3本柱

- 国内塗料事業の高付加価値化
- 海外塗料事業の積極拡大
- 新たな収益源事業の育成・強化

### 前中期経営計画期間(~2014年3月期)

- グループ構造改革・体質改善を積極的に進展
- 海外塗料事業・ジェットインク事業の成長基盤を整備
- 成果
  - 業績目標を達成し、最高益を更新  
(経常利益 : 目標36億円 → 実績42億円)
  - (経常利益率 : 目標5.0% → 実績5.8%)
  - 高収益体質に転換、財務内容は大幅好転  
(借入金圧縮 208億円 → 153億円(△55億円))
  - (自己資本比率向上 21.7% → 33.5%(+11.8ポイント))

### 新中期経営計画期間(~2017年3月期)

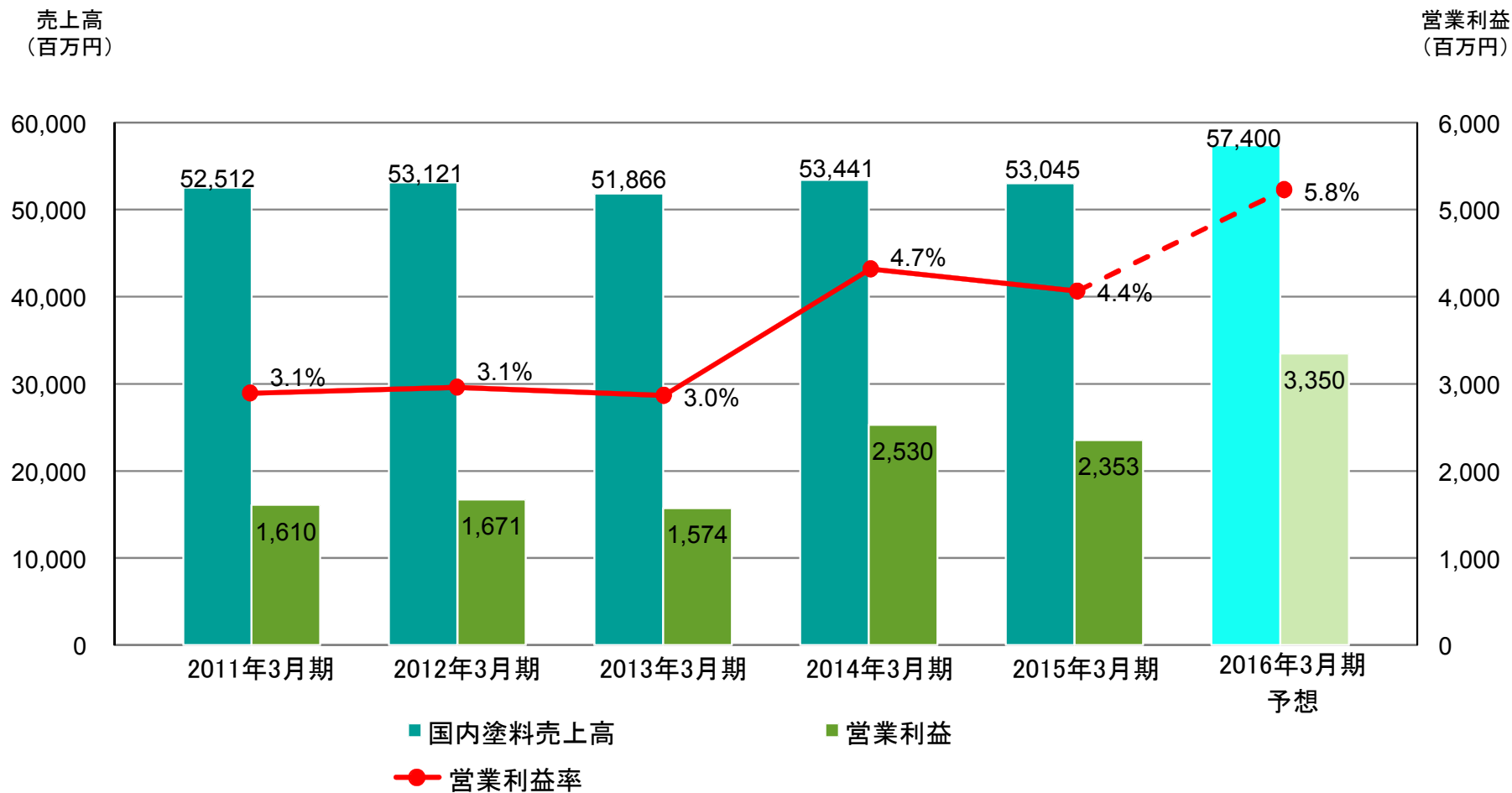
- さらなる成長力とグローバル展開力を持つ企業へ
- 数値計画
  - 売上高 : 800億円
  - 営業利益 : 59億円
  - 経常利益 : 60億円
  - 経常利益率 : 7.5%

# 1. 経営成績の概況

## ②国内塗料事業 売上高・営業利益推移



- 市場縮小、消費税増税の反動減にも拘らず、インフラ更新需要を着実に取り込みつつグループ構造改革や体質改善を進め収益基盤を強化

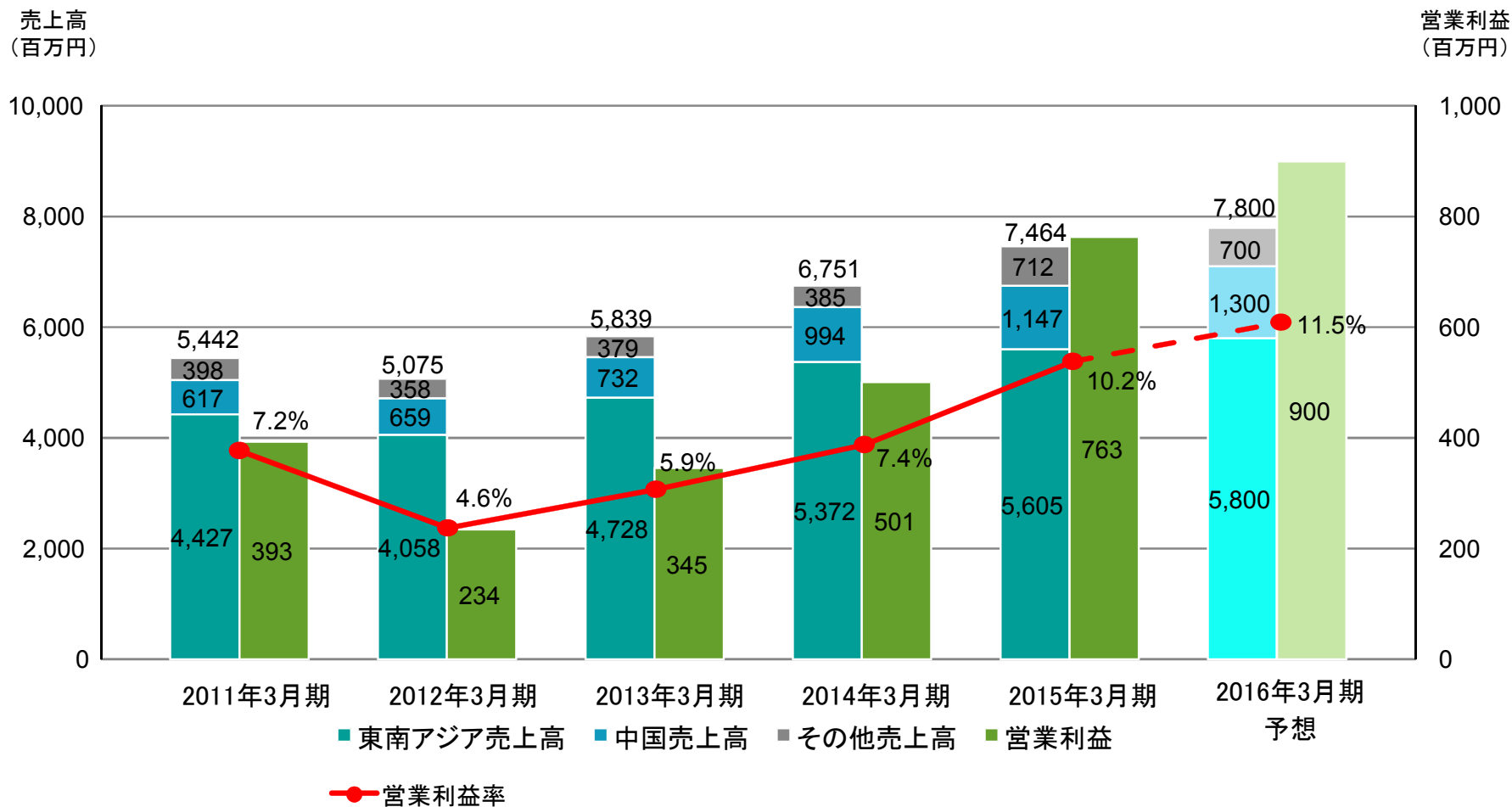


# 1. 経営成績の概況

## ③海外塗料事業 地域別売上高・営業利益推移



- 中国経済の減速、タイの政情不安等のダウンサイドリスクは懸念されるものの、海外事業拡大プロジェクトの推進、メキシコ合弁販売会社発足により増収増益基調を継続



# ①決算概要総括



## 業界環境

### 国内

構造物、建築分野では公共投資の抑制や現場工事の遅延等により需要が停滞するも、インフラの維持・補修需要に増加の動き。その他の分野では中国経済の低迷から生産調整を行う企業が相次ぎ、需要は低調に推移

### 海外

①東南アジア:タイ・インドネシアを中心に景気が後退②中国:景気先行き不透明感から消費低調。為替・人件費高騰で生産を中国からシフトする動き③その他:北米では緩やかな景気回復基調

## 売上面

- 国内塗料事業、海外塗料事業、照明機器事業で増収

<b>連結売上高</b> <b>37,819</b> 百万円 前年比 +2,707百万円 +7.7%	国内塗料	27,741百万円	+2,020百万円 +7.9%	構造物分野の出荷が順調に推移、建築分野の塗り替え需要も好調。粉体塗料製造合弁会社が業績に寄与し増収
	海外塗料	3,816百万円	+258百万円 +7.3%	構造物分野で伸長の中国、自動車部品分野が順調なメキシコの2拠点が牽引し増収
	照明機器	4,504百万円	+225百万円 +5.2%	百貨店や大手スーパーの改修需要が回復し増収
	蛍光色材	672百万円	△27百万円 △3.9%	国内の塗料・加工品需要は底堅く推移するも海外の顔料需要が低調に推移し減収

## 利益面

- 国内塗料事業、海外塗料事業が全体の利益増を牽引して増益

<b>連結営業利益</b> <b>2,703</b> 百万円 前年比 +946百万円 +53.9%	国内塗料	1,644百万円	+715百万円 +77.1%	高付加価値品の拡販及び原材料価格の安定化により増益
	海外塗料	488百万円	+173百万円 +54.9%	現地調達の実施等の生産合理化による原材料費削減効果に円安の影響も加わり増益

## ②損益計算書(P/L)(連結)

(単位:百万円、%)

	実績						コメント
	2015年3月期第2四半期			2016年3月期第2四半期			
	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減率	
売上高	35,112	100.0	△0.7	37,819	100.0	7.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (国内)インフラのメンテナンス需要を中心に売上堅調</li> <li>■ (海外)中国及びメキシコを中心に売上堅調</li> </ul>
売上総利益	9,562	27.2	△1.1	10,734	28.4	12.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 原材料価格の安定が大きく寄与</li> </ul>
販売費及び一般管理費	7,805	22.2	△2.5	8,030	21.2	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (国内)人件費が増加傾向だが、全般的なコスト低減の取り組みを推進</li> </ul>
営業利益	1,757	5.0	5.2	2,703	7.1	53.9	
経常利益	1,705	4.9	3.9	2,639	7.0	54.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 営業外費用にて、支払利息減少 △26</li> </ul>
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,165	3.3	40.3	1,494	4.0	28.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (海外)特別利益にて保険金収益 118計上</li> <li>■ (同上)特別損失にて火災損失△158計上</li> </ul>
減価償却費	880	—	△14.8	957	—	8.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (国内)前年設備投資増加による償却費の増加</li> </ul>
設備投資額	1,193	—	29.0	824	—	△30.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前年同期比 △369</li> <li>■ 内訳&lt;国内567&gt; &lt;海外92&gt; &lt;照明149&gt; &lt;蛍光12&gt;&lt;その他4&gt;</li> </ul>

## 2. 2016年3月期第2四半期実績

### ③セグメント別売上高・営業利益(連結)

(単位:百万円、%)

	実績						コメント
	2015年3月期第2四半期			2016年3月期第2四半期			
	金額	構成比	前期比増減率	金額	構成比	前期比増減率	
<b>売上高</b>	35,112	100.0	△0.7	37,819	100.0	7.7	
国内塗料	25,721	73.3	△0.8	27,741	73.3	7.9	■ 建築塗料の塗り替え需要や、2015年1月設立の粉体塗料製造会社が寄与
海外塗料	3,558	10.1	5.7	3,816	10.1	7.3	■ 東南アジアは売上低調も、中国やメキシコが好調
照明機器	4,279	12.2	△3.9	4,504	11.9	5.2	
蛍光色材	699	2.0	△8.4	672	1.8	△3.9	■ 海外向け顔料需要が低調
その他	853	2.4	△0.8	1,085	2.9	27.2	
<b>営業利益</b>	1,757	100.0	5.2	2,703	100.0	53.9	
国内塗料	928	52.8	△2.6	1,644	60.8	77.1	■ 売上増加と経費削減により増益
海外塗料	315	17.9	43.2	488	18.1	54.9	■ 高付加価値品である自動車部品塗料が好調により増益
照明機器	311	17.7	3.8	277	10.3	△10.9	■ 基幹システム導入による経費増加で減益
蛍光色材	75	4.3	△35.3	76	2.8	1.2	
その他	64	3.8	24.2	108	4.0	69.3	
調整額	61	3.5	114.7	108	4.0	75.2	

## ④貸借対照表(B/S)(連結)

(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期 第2四半期	増減額	コメント
<b>流動資産</b>	32,458	32,997	539	
現金及び預金	2,498	2,713	215	■ 営業活動による増加1,897に対して、借入金返済等による財務活動△1,181、設備投資の支払等による投資活動△495
受取手形及び売掛金	17,562	17,934	371	■ 国内塗料事業500増加
たな卸資産	10,085	10,466	380	■ 国内塗料事業221増加、照明機器事業230増加
<b>固定資産</b>	36,794	36,188	△606	
有形固定資産	24,271	23,903	△367	■ 設備投資789増加に対して、償却△943、海外塗料事業でタイ土地売却△67
無形固定資産	716	762	45	
投資その他の資産	11,805	11,521	△284	■ 株価の時価下落による投資有価証券△564、退職給付に係る資産378の増加
<b>資産合計</b>	69,252	69,185	△67	
<b>負債合計</b>	40,811	40,350	△460	■ 借入金の減少△258
(借入金残高)	13,183	12,924	△258	
<b>純資産合計</b>	28,441	28,835	393	■ 親会社株主に帰属する四半期純利益1,494に対して、配当金支払△445、有価証券評価差額金の減少△355、自己株式取得△250
<b>負債純資産合計</b>	69,252	69,185	△67	



## ⑤ キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額	コメント
営業活動による キャッシュ・フロー	1,365	1,897	532	■ 各事業セグメントの利益貢献
投資活動による キャッシュ・フロー	△901	△495	405	■ 設備投資額の減少△369(前期 1,193→当期 824)
財務活動による キャッシュ・フロー	△155	△1,181	△1,026	■ 長期借入金の純減額の増加(前期△1,508→当期△2,583) ■ 自己株式取得による支出 250
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△18	△5	13	
現金及び現金同等物の 増減額	290	215	△75	
現金及び現金同等物の 期首残高	2,379	2,444	64	
現金及び現金同等物の 期末残高	2,670	2,659	△10	

### 3. 2016年3月期業績予想

## ①業績予想のポイント



### 売上面

- 前期比、増収を継続

連結売上高  
**78,000**百万円

前期比  
+4,995百万円  
+6.8%

国内塗料

**57,400**百万円

+4,355百万円  
+8.2%

構造物、建築塗料等分野の  
維持・補修需要が増加傾向

海外塗料

**7,800**百万円

+336百万円  
+4.5%

中国における構造物分野を  
中心に拡大

### 利益面

- 前期比増益、過去最高益を更新

連結営業利益  
**5,450**百万円

前期比  
+1,022百万円  
+23.1%

国内塗料

**3,350**百万円

+997百万円  
+42.4%

高付加価値品の拡販により  
大幅増益

海外塗料

**900**百万円

+137百万円  
+18.0%

原材料の現地調達進展効果  
を見込む

### 3. 2016年3月期業績予想

## ②損益計算書(P/L)予想(連結)

(単位:百万円、%)

	実績			予想			コメント
	2015年3月期			2016年3月期			
	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減率	
売上高	73,005	100.0	0.5	78,000	100.0	6.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 構造物、建築塗り替えが好調</li> <li>■ 2015年1月設立の粉体塗料製造会社が寄与</li> </ul>
売上総利益	20,040	27.5	△0.3	22,150	28.4	10.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高付加価値品の拡販</li> <li>■ 原材料価格の安定</li> </ul>
販売費及び 一般管理費	15,612	21.4	△1.4	16,700	21.4	7.0	
営業利益	4,428	6.1	3.6	5,450	7.0	23.1	
経常利益	4,498	6.2	6.8	5,500	7.1	22.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 支払利息の減少</li> </ul>
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,756	3.8	6.4	3,300	4.2	19.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業構造改善費用△100</li> </ul>
減価償却費	1,759	—	△11.2	1,950	—	10.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前年度の設備投資増加を受け、増加</li> </ul>
設備投資額	2,225	—	22.1	1,970	—	△11.5	

### 3. 2016年3月期業績予想

## ③セグメント別売上高・営業利益(連結)

(単位:百万円、%)

	実績			予想			コメント
	2015年3月期			2016年3月期			
	金額	構成比	前期比増減率	金額	構成比	前期比増減率	
<b>売上高</b>	73,005	100.0	0.5	78,000	100.0	6.8	
国内塗料	53,045	72.7	△0.7	57,400	73.6	8.2	■ 維持・補修需要が回復傾向
海外塗料	7,464	10.2	10.6	7,800	10.0	4.5	■ 中国牽引も、東南アジアの見通し低調
照明機器	9,131	12.5	1.5	9,400	12.0	2.9	■ 小売業界における設備投資が回復基調
蛍光色材	1,401	1.9	△9.0	1,400	1.8	△0.1	■ 海外向け顔料需要は依然低調な見通し
その他	1,961	2.7	3.8	2,000	2.6	1.9	
<b>営業利益</b>	4,428	100.0	3.6	5,450	100.0	23.1	
国内塗料	2,353	53.1	△7.0	3,350	61.5	42.4	■ 継続的な高付加価値品の拡販
海外塗料	763	17.2	52.2	900	16.5	18.0	■ 原材料の現地調達化進展
照明機器	785	17.7	6.1	700	12.8	△10.9	■ 基幹システムの導入費用計上
蛍光色材	154	3.5	△33.1	160	2.9	3.6	■ 販管費の削減
その他	177	4.0	5.2	150	2.8	△15.7	
調整額	194	4.5	91.2	190	3.5	△2.1	

### 3. 2016年3月期業績予想

## ④海外地域別売上高



(単位:百万円、%)

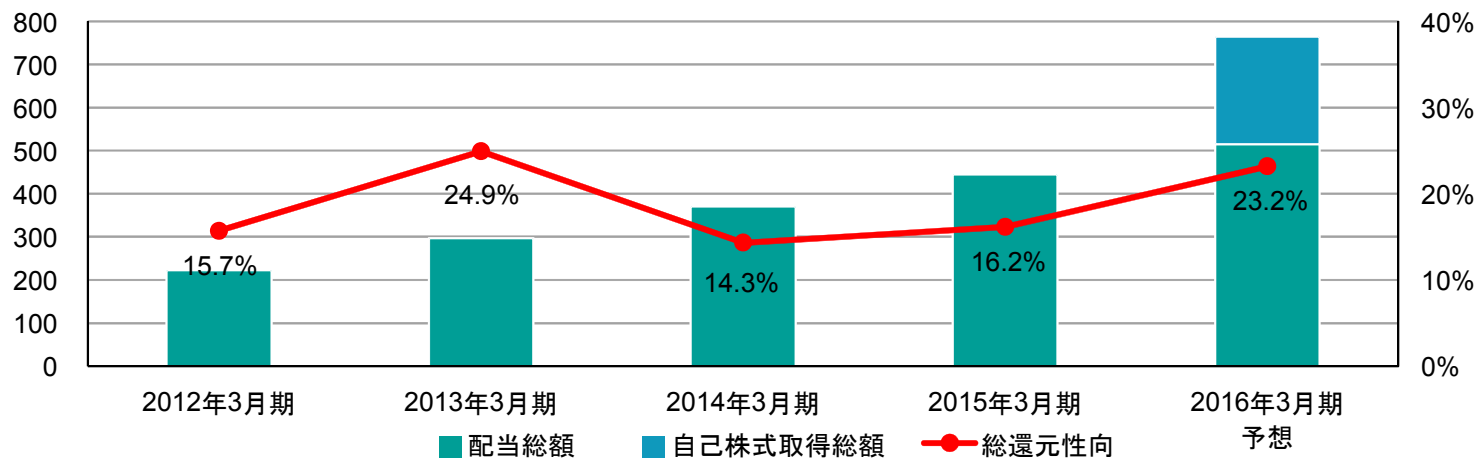
	実績			予想			コメント
	2015年3月期			2016年3月期			
	金額	構成比	前期比増減率	金額	構成比	前期比増減率	
海外 計	7,464	100.0	10.6	7,800	100.0	4.5	
東南アジア	5,605	75.1	4.3	5,800	74.4	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車生産量の回復の遅さに加え、景気停滞の影響から、伸び鈍化</li> </ul>
中国	1,147	15.4	15.4	1,300	16.7	13.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>構造物分野を中心に売上拡大へ</li> </ul>
その他	711	9.5	9.5	700	8.9	△1.7	

## 4. 株主還元

### 総還元性向推移

- 業績に連動した継続的な増配を着実に実施。今後も業績を勘案し自己株式の取得を含めた総還元性向の拡充を計画

(百万円)



### 株主優待

- 2015年5月13日開催の取締役会において、株主優待制度の導入を決定

保有株式数	優待内容
1,000株以上10,000株未満	当社オリジナルQUOカード 1,000円分
10,000株以上	当社オリジナルQUOカード 3,000円分

## IV. 經營戰略



# 1. 事業環境



- 国内ではインフラメンテナンスは拡大するも趨勢的に漸減傾向。環境負荷低減、高機能化対応がテーマ
- 新興国では塗料需要拡大、日系メーカーの海外生産数量は大幅な成長、インフラ投資需要拡大に期待

## 国内市場動向

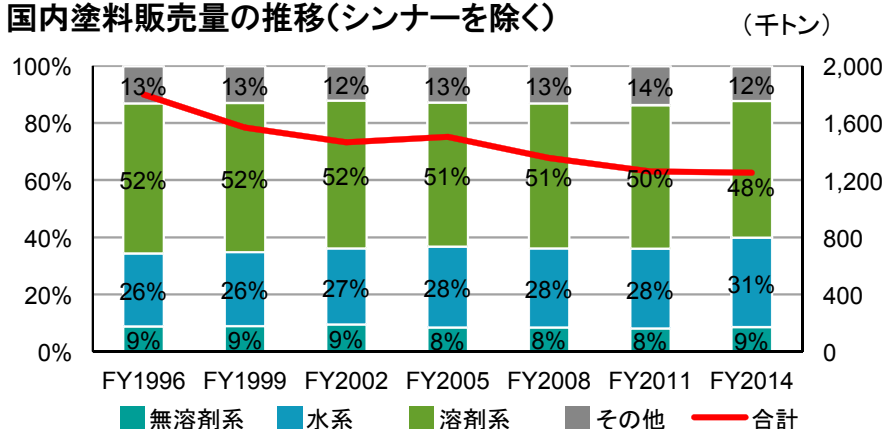
### インフラメンテナンス需要の拡大

- 2020年の東京五輪に向け、数年間は首都圏を中心にインフラのメンテナンス(維持、補修)需要に期待
- 中長期的には国内塗料市場は趨勢的に漸減傾向

### 環境負荷低減／高機能化

- 環境規制の影響により弱溶剤塗料、粉体塗料、水性塗料などの環境負荷低減形塗料への需要が拡大
- 高機能化①高耐久、高耐候性等、②遮熱、断熱、耐火等の特殊機能、③素材・基材の変化への対応

### 国内塗料販売量の推移(シンナーを除く)



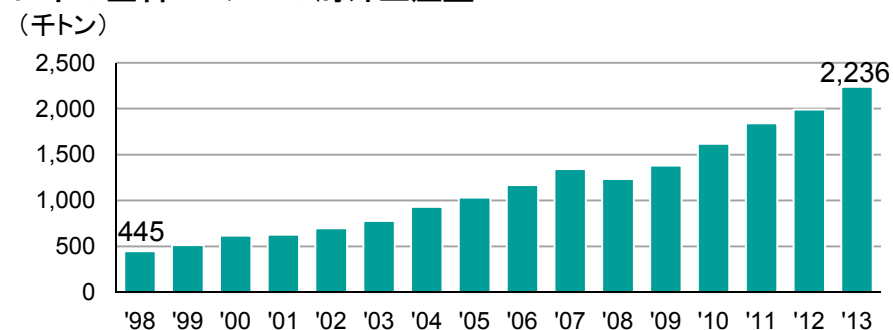
出所: 日本塗料工業会

## 海外市場動向

### 新興国塗料需要の拡大

- 新興国での塗料需要の拡大に伴い、日系塗料メーカーの海外生産数量は大幅な成長、海外市場の要求に対応した独自性のある製品開発と現地生産供給体制強化
- 電力・鉄道・道路網整備等が予測され、重防食塗料への需要が拡大
  - 中国: 景気減速傾向の中でも公共インフラ投資は堅調
  - インド: 内需拡大に伴う大型インフラ投資拡大

### 日本の塗料メーカーの海外生産量



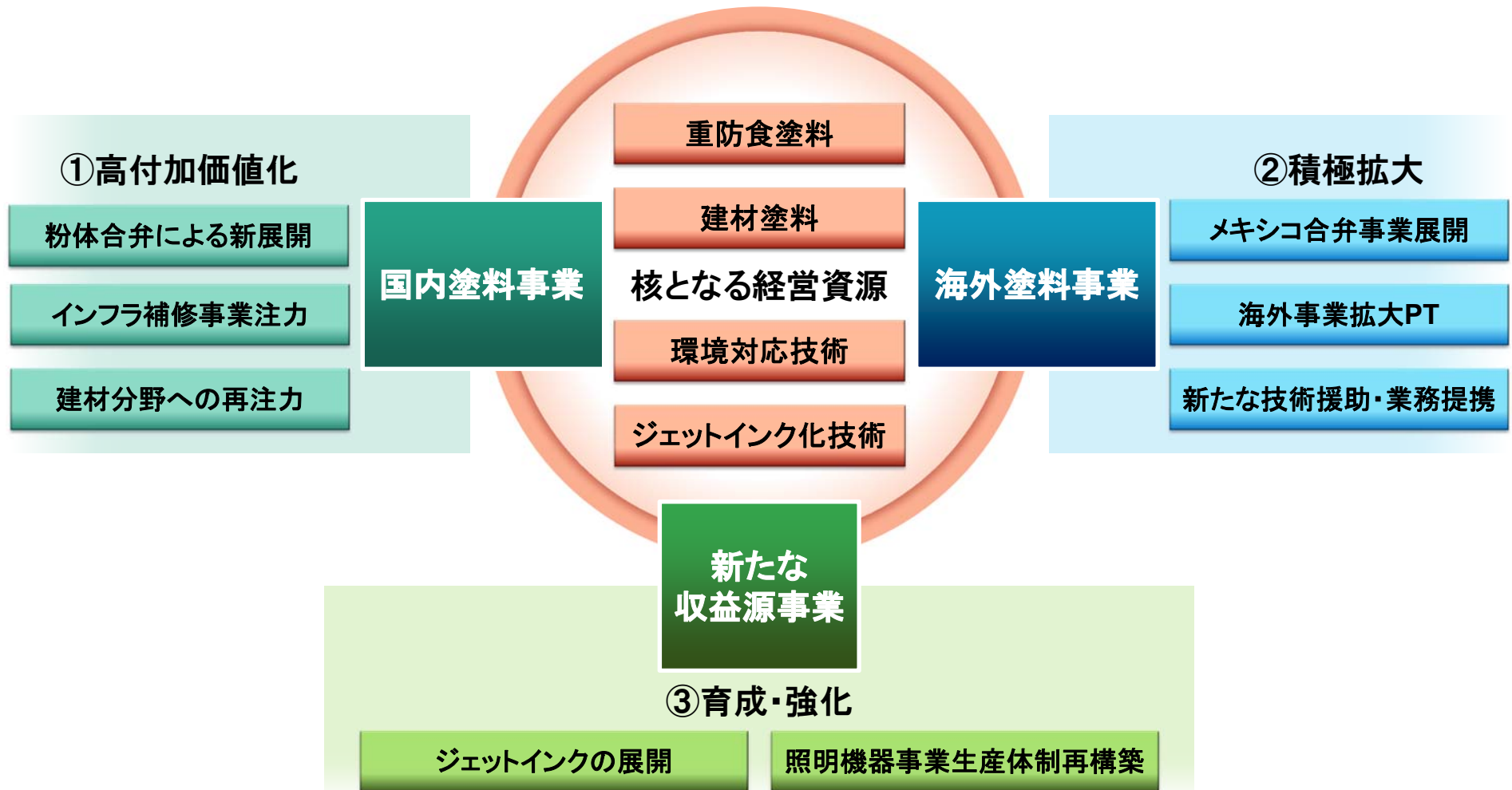
出所: 日本塗料工業会



## 2. 経営戦略



- DNTグループの核となる経営資源を軸に国内塗料事業の高付加価値化、海外塗料事業の積極拡大、新たな収益源事業の育成・強化に取り組む



### 3. 新中期経営計画概要(2015年3月期～2017年3月期)①



- 前中計期間に構築した海外塗料事業・ジェットインク事業の成長基盤をフル活用した売上高・利益拡大
- 国内塗料事業・照明機器事業についてはエンドユーザーのニーズを反映する商品開発・販売戦略を展開

#### 支柱施策

- ①国内塗料事業の高付加価値化
- ②海外塗料事業の積極拡大
- ③新たな収益源事業の育成・強化

#### 数値目標 連結計

	2014年3月期実績		2017年3月期計画(2014年3月期比)
売上高	726億円	➡	800億円 (+74億円、+10.2%)
営業利益	43億円	➡	59億円 (+16億円、+37.2%)
経常利益	42億円	➡	60億円 (+18億円、+42.8%)
経常利益率	5.8%	➡	7.5% (+1.7ポイント)

### 3. 新中期経営計画概要(2015年3月期～2017年3月期)②



- 国内塗料事業については、粉体合弁事業による購買力強化、生産効率の向上、外注の内製化を進展
- ジェットインク事業についてはプロジェクトを発足、既存重点先、新規顧客両面で市場を開拓

目標		具体的施策						
セグメント別売上高計画	セグメント別営業利益計画							
国内塗料事業	<p>(億円)</p> <table border="1"> <tr><th>期</th><th>売上高 (億円)</th></tr> <tr><td>'14/3期</td><td>534</td></tr> <tr><td>'17/3期計画</td><td>567</td></tr> </table>	期	売上高 (億円)	'14/3期	534	'17/3期計画	567	<p><b>粉体合弁事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関西ペイント(株)連結子会社久保孝ペイント(株)と当社の粉体塗料事業を統合(出資51%)</li> <li>■ 原材料や製造のコストシナジー効果の導出</li> </ul> <p><b>インフラコーティングPJ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東京五輪に向け関連施設需要や都市部のインフラ整備需要をグループ一体となったプロジェクトチーム体制で取組む</li> <li>■ DNT塗膜診断システムの活用</li> </ul> <p><b>リフォーム事業拡大PJ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当社の建材塗料で施工された物件の塗り替え工事と塗料需要の取り込み</li> </ul> <p><b>ジェットインク販売増加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 既存顧客には新機種対応で拡販</li> <li>■ 新規顧客はIJフロンティアPJにより市場開拓を進展</li> </ul>
	期	売上高 (億円)						
'14/3期	534							
'17/3期計画	567							
	<p>(億円)</p> <table border="1"> <tr><th>期</th><th>営業利益 (億円)</th></tr> <tr><td>'14/3期</td><td>25</td></tr> <tr><td>'17/3期計画</td><td>33</td></tr> </table>	期	営業利益 (億円)	'14/3期	25	'17/3期計画	33	
期	営業利益 (億円)							
'14/3期	25							
'17/3期計画	33							

### 3. 新中期経営計画概要(2015年3月期～2017年3月期)③



- 海外塗料事業はメキシコでの合弁販売会社を軸に好調な北米自動車部品向け塗料の拡販を図る
- 照明機器事業は効率化を進展、コスト競争力を強化するとともに営業強化策を進展

	目標		具体的施策												
	セグメント別売上高計画	セグメント別営業利益計画													
海外塗料事業	(億円) <table border="1"> <tr><th>期</th><th>売上高 (億円)</th></tr> <tr><td>'14/3期</td><td>68</td></tr> <tr><td>'17/3期計画</td><td>102</td></tr> </table>	期	売上高 (億円)	'14/3期	68	'17/3期計画	102	(億円) <table border="1"> <tr><th>期</th><th>営業利益 (億円)</th></tr> <tr><td>'14/3期</td><td>5</td></tr> <tr><td>'17/3期計画</td><td>11</td></tr> </table>	期	営業利益 (億円)	'14/3期	5	'17/3期計画	11	<div style="background-color: #00A0C0; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"><b>メキシコ合弁事業</b></div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関西ペイント(株)との合弁販売会社を通じ、自動車部品向け塗料の販売拡大を図る</li> </ul> <div style="background-color: #00A0C0; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"><b>海外事業拡大PJ</b></div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内取引先からの案件情報をもとに海外での事業開拓</li> </ul>
期	売上高 (億円)														
'14/3期	68														
'17/3期計画	102														
期	営業利益 (億円)														
'14/3期	5														
'17/3期計画	11														
照明機器事業	(億円) <table border="1"> <tr><th>期</th><th>売上高 (億円)</th></tr> <tr><td>'14/3期</td><td>90</td></tr> <tr><td>'17/3期計画</td><td>97</td></tr> </table>	期	売上高 (億円)	'14/3期	90	'17/3期計画	97	(億円) <table border="1"> <tr><th>期</th><th>営業利益 (億円)</th></tr> <tr><td>'14/3期</td><td>7</td></tr> <tr><td>'17/3期計画</td><td>9</td></tr> </table>	期	営業利益 (億円)	'14/3期	7	'17/3期計画	9	<div style="background-color: #00A0C0; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"><b>コスト競争力強化</b></div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生産体制を再構築</li> </ul> <div style="background-color: #00A0C0; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"><b>営業強化</b></div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新市場開拓</li> <li>■ 新商品積極投入</li> </ul>
期	売上高 (億円)														
'14/3期	90														
'17/3期計画	97														
期	営業利益 (億円)														
'14/3期	7														
'17/3期計画	9														

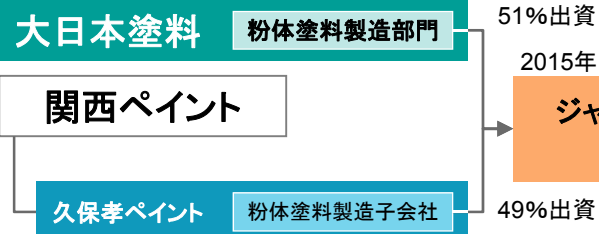
## 4. 経営戦略トピックス

### ① 国内塗料事業の高付加価値化

- 高い収益性が期待できる粉体塗料事業を他社と合併により再編、効率性向上とコスト削減による競争力強化を実現
- 東京五輪に向け、「インフラコーティングプロジェクト」を立ち上げ、構造物の塗り替え需要に対応

#### 粉体塗料事業の再編

- ジャパンパウダー塗料製造(株)の設立
  - 関西ペイント(株)連結子会社の久保孝ペイント(株)と共同での新設分割により、国内における粉体塗料の製造事業の合併会社を設立



- 揮発性有機化合物(VOC)を含まない、人と環境にやさしい次世代の塗料として成長が期待される。環境保全の今後を見つめた新しいビジネスモデルの構築
- 環境対応に優れた成長分野であるため、合併による規模拡大による生産効率拡大、調達コスト低減を目指す



【粉体塗料静電塗装】

#### インフラコーティングプロジェクト

- 2014年4月から建築・構造物塗料事業部を中心とした「インフラコーティングプロジェクト」を立ち上げ
  - 2020年東京五輪の関連施設及び関東地域におけるインフラの維持と補修
  - 構造物の塗り替え需要が本格化しつつある動きへの対応



【里美大橋(茨城):塗り替え前】



【塗り替え後】

- キーワード

#### 環境配慮

溶剤系からVOC削減に効果のある水性塗料への転換

#### LCC低減

(ライフサイクルコスト)

防錆性と耐久性を確保する重防食塗料によるライフサイクルの長期化によるメンテナンスコスト低減

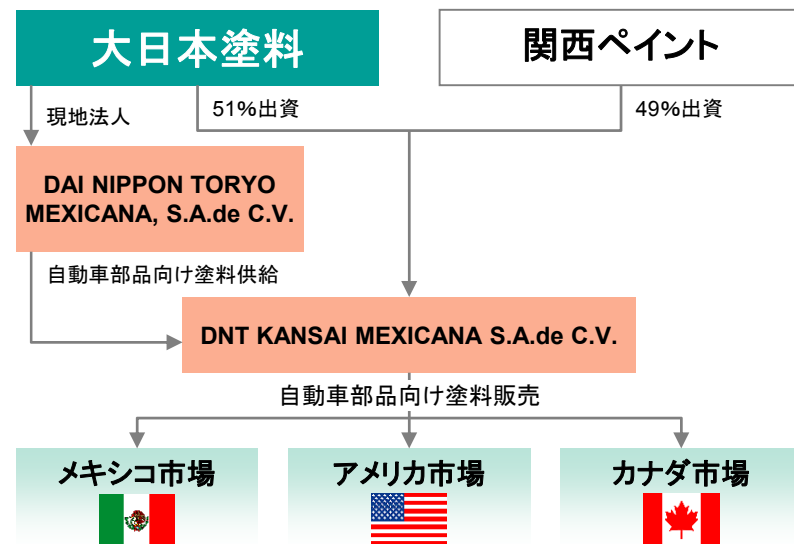
## 4. 経営戦略トピックス

### ② 海外塗料事業の積極拡大

- 自動車部品など工業用塗料の分野で基盤を積極拡大、メキシコ合併事業においては既存の生産拠点の販路拡大に注力
- 重防食塗料案件獲得に向け、グローバルに活動展開

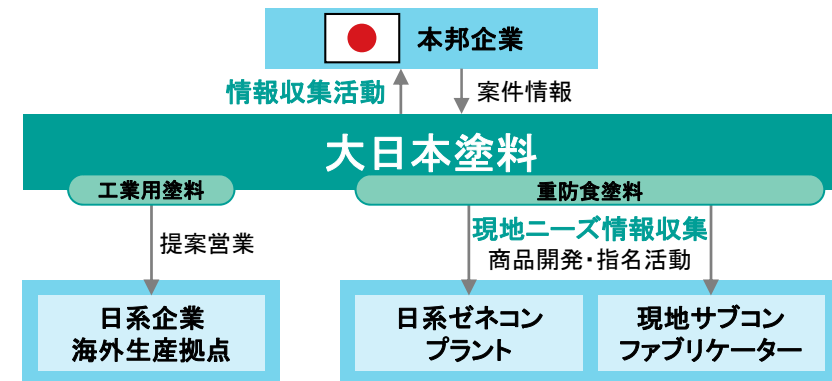
#### メキシコ合併事業

- 2013年6月、関西ペイント(株)とメキシコ合衆国、アメリカ合衆国及びカナダにおける自動車部品メーカー向け塗料製品の販売事業を行う合併会社をメキシコ合衆国に設立
- 自動車部品のトップティアワンに対し、きめ細かい対応を実施、北米でのシェアの拡大を目指す



#### 海外事業拡大プロジェクト

- 自動車用部品等工業用塗料分野で海外事業基盤を確立し、経営の安定性を高める
- その基盤の上で、海外インフラ事業向け重防食塗料ビジネスをグローバルに展開
- 2012年より、国内で取引のある日系企業をピックアップし、海外での新規顧客開拓と事業展開を積極的に推進
- 重防食塗料では、サブコン・ファブリーケーターが発注先の決定権を持つ場合が多くなってきており、要求されるコスト及び現地ニーズに対応した商品開発を推進



### ③新たな収益源事業の育成・強化

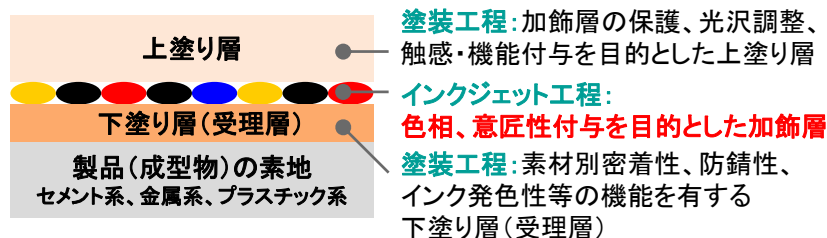


- 塗料事業とジェットインク事業の両方を展開している強みを生かし、建材分野を中心に新しい塗装システムを提案
- LED時代にも業務用照明機器での高いシェアは維持、効率化を進めつつ新分野を開拓

#### ジェットインク事業

- 当社はインクジェットによる加飾技術、塗料とインクの組み合わせ技術、異なる性能を有する塗料を組み合わせる塗装システム技術を有する
- 塗料とインクの両方に知見がある強みを活かしたIJフロンティアプロジェクトを発足し、顧客と用途拡大を目指す

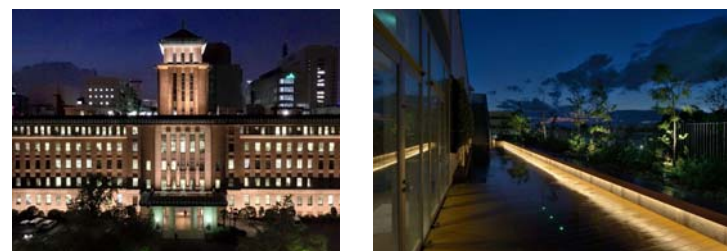
#### イメージ塗膜構成



- ジェットインク事業以外にも、ナノ分散技術を用いた機能性ナノコーティング材を光学フィルム分野へ応用
- 貴金属ナノ粒子(金ナノ粒子、銀ナノ粒子)形状を精密に制御し、可視域から近赤外域にかけて光を吸収することにより、診断薬、光調整フィルター材及び多色設計が可能な新規色材等の新たな分野へ展開中

#### 照明機器事業

- 建築化照明分野で従来獲得できていなかった、屋外、半屋外用照明のマーケットに本格的に取り組む



- 大日本塗料の生産効率改善ノウハウを、照明機器事業に適用することで、さらなる利益率改善と競争力の拡大を目指す
- LEDの先を見据え、有機EL照明の開発も検討

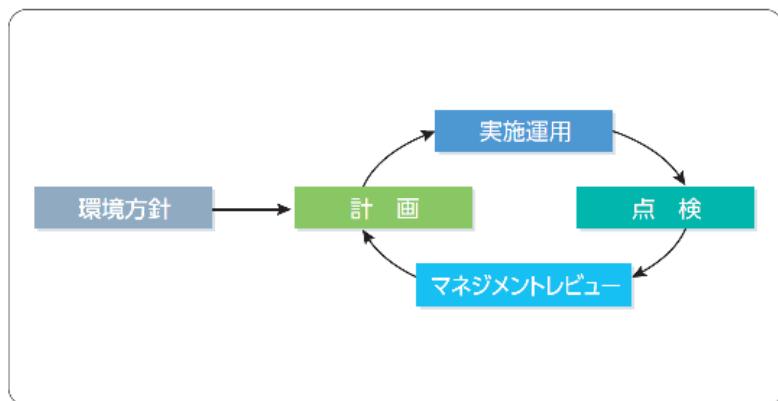
## 5. 環境・社会への取組み



- 創業の原点であるモノづくりの精神を受け継ぎながら、環境対応技術の開発に積極的な取組みを継続
- 環境方針のもと研究開発・原料調達・生産・流通販売・塗装を経て廃棄に至るまでライフサイクル全体を通し、環境影響を最小とする

### 環境マネジメントシステムの確立・実施

#### ■ 環境マネジメントの流れ



#### ■ 環境マネジメントシステム

- 大阪、小牧、那須の3事業所でISO14001の認証を取得、省エネルギーを徹底した事業活動を通じて二酸化炭素の発生量原単位の削減に取組み、環境対応形塗料など市場ニーズに対応した商品の開発を積極的に展開
- 環境マネジメントシステム(EMS)を基軸としながら、「環境負荷が小さく、持続可能な経済社会の構築」へ向けて、グループ全体での環境経営体制を強化

### 日本政策投資銀行による塗料業界初の環境格付取得

- 当社は日本政策投資銀行(DBJ)から、「環境への配慮に対する取組みが先進的」との格付を取得し、「DBJ環境格付」に基づく融資を受けた。評価のポイントとして、下記内容が高く評価
  - 環境配慮製品の売上高を拡大させている点
  - 独自の「環境セミナー」を通じ、幅広いステークホルダーに対する製品の環境情報開示及び環境に配慮した塗料の普及に努めている点
  - 国内外の生産子会社において環境マネジメントシステムの構築を推進し、グループ全体で環境配慮製品へ取り組んでいる点
- 今後も「環境負荷が小さく持続可能な社会を築いていくことが重要である」との認識のもと、環境への取組みを継続

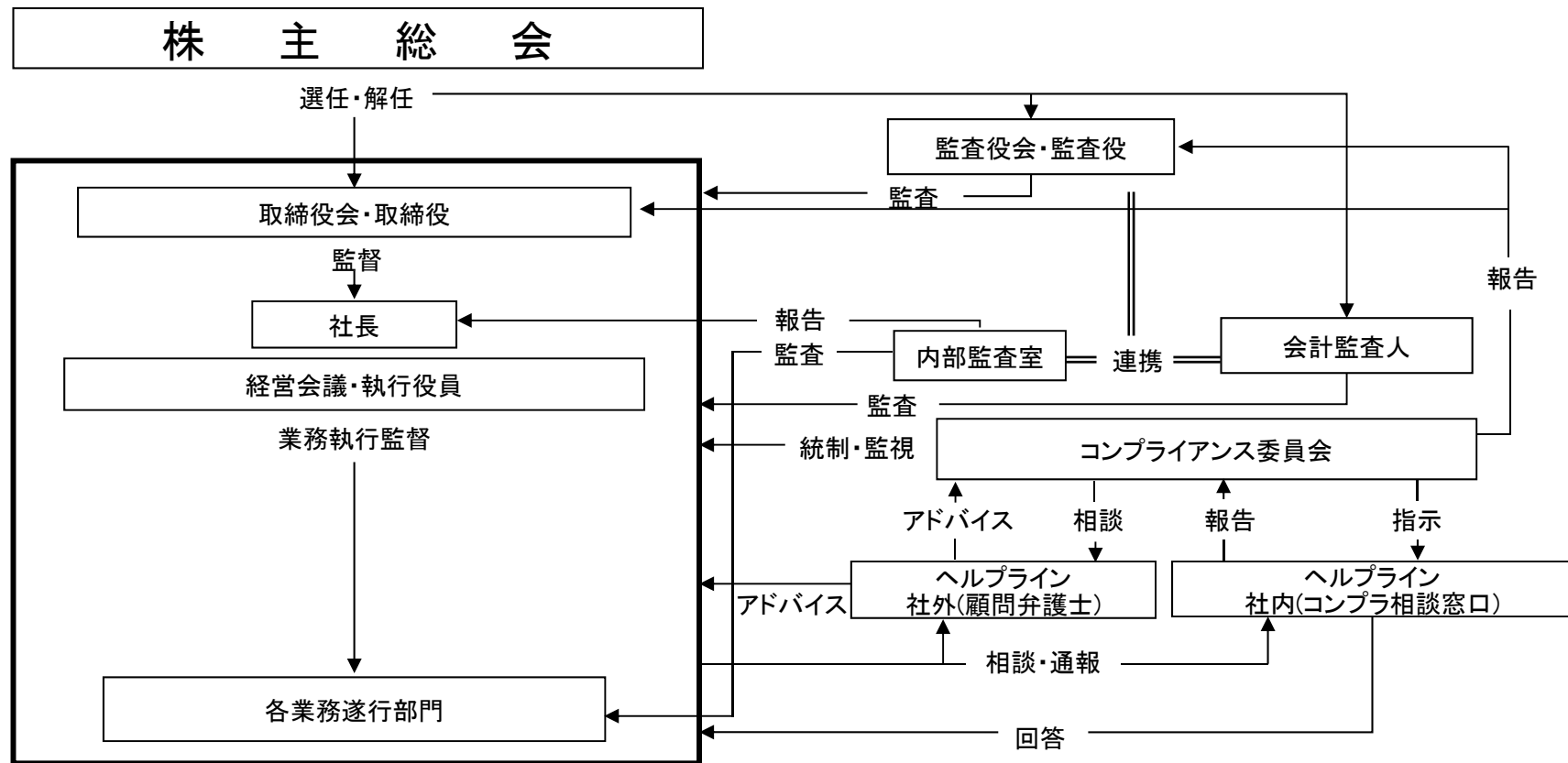




## 6. ガバナンス体制

- 経営の透明性を確保、コーポレートガバナンス強化に向け必要な体制整備を推進
- コーポレートガバナンス・コードに対する当社の基本的な考え方とその枠組み、運営に係る方針を定めた「コーポレートガバナンスに関する基本方針」を2015年10月29日に制定

### ガバナンス体制



# Appendix



# VフロンHBシリーズ/DNT水性重防食システム

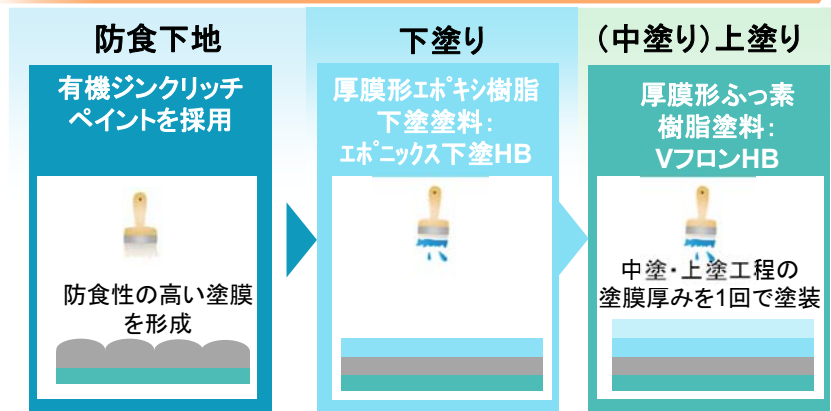


- 超耐久性塗装システム「VフロンHBシリーズ」は、塗装系の高耐久化と塗装工程の短縮を実現
- オール水性化を国内で初めて実現した「DNT水性重防食システム」を提供。東京五輪に向けて普及を促進

## 超耐久性塗装システム：VフロンHBシリーズ

東京スカイツリー®にも採用の重防食システム

### 塗装工程



従来5工程の塗装仕様を3工程に

塗装工程の短縮

VOC排出量を約25%削減

環境負荷の低減

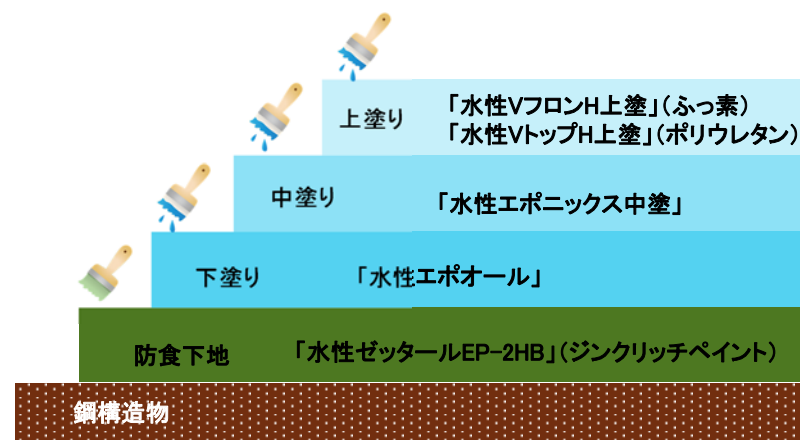
塗り替えサイクル10年→25年

塗り替え周期の延長

## DNT水性重防食システム

環境配慮による溶剤系から水性化への流れ

- ジンクリッチペイントから下塗り、上塗りまでのオール水性化を国内で初めて実現
- 溶剤系と比べVOCを約90%削減



水性塗料普及への取組み

- 溶剤形重防食塗装システムと同等の防食性、耐候性を有することをPR
- プラント、タンク、配管、橋梁、立体駐車場などに採用実績

# DNT塗膜診断システム(塗膜診断・塗り替え仕様選定システム)



- 塗膜の劣化・寿命を正確に把握し、LCC(ライフサイクルコスト)低減を提示、補修・塗り替え需要を確保

## システムの特長

- 塗膜下金属腐食診断装置は、ISO13129で認定されたカレントインタラプタ(CI)法を採用し、測定精度の信頼性が確認されている
- 塗膜劣化の範囲及び劣化度を高精度で診断できるため、塗り替え範囲と時期が判定できる
- 旧塗膜の種類や膜厚に応じた、適切で経済的な塗り替え仕様を選定できる

## 適用範囲

- 橋梁
- プラント設備  
(電力、ガス、石油等)

## 1 塗膜調査メニュー

### 1. 外観調査

- ① 目視調査による評価
- ② 画像処理解析による劣化面積算出

### 2. 塗膜下金属腐食診断装置による調査



### 3. 塗膜の調査

- ① 膜厚測定
- ② 付着力測定
- ③ 化学分析

## 塗膜調査結果

## 2 コンピュータ解析による塗り替え仕様選定プロセス

- 期待耐用年数、工事予算、景観・色彩設定なども考慮した選定プロセス

## 診断レポート

## 3 LCCや環境に配慮した最適な塗装仕様を決定

# 2015年度 (NETIS) “推奨技術” に選定 「サビシャット」



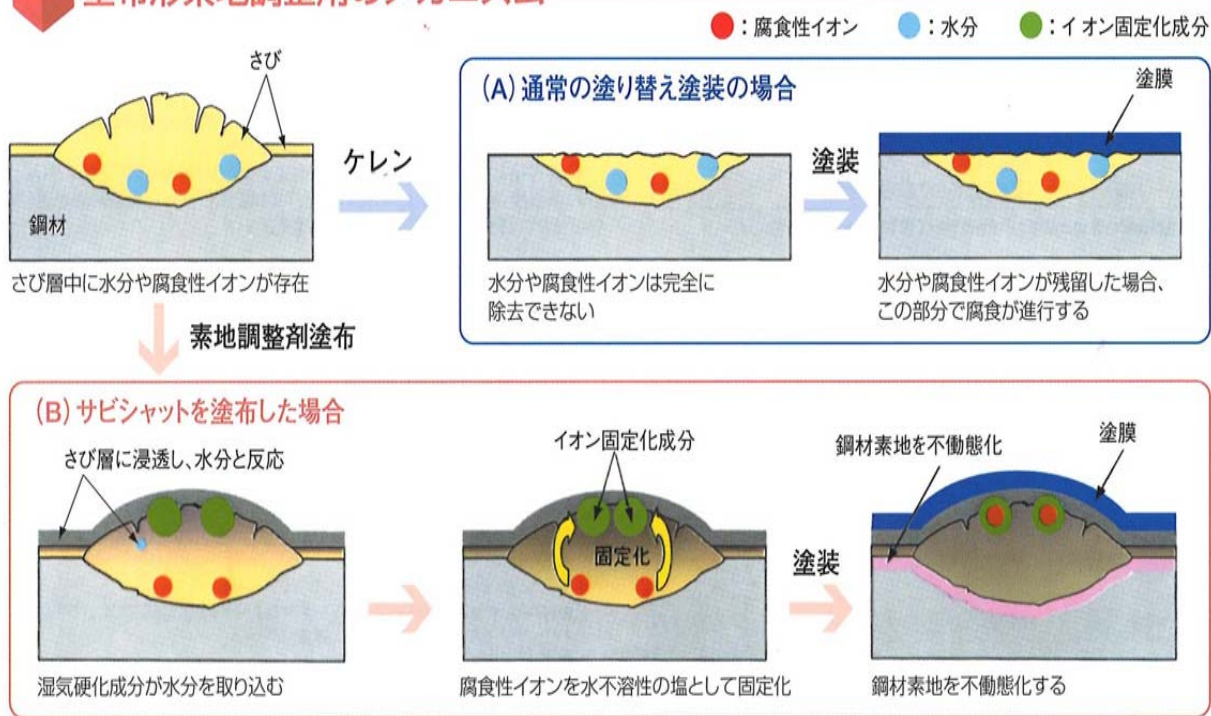
- 塗布形素地調整軽減剤「サビシャット」は、国土交通省のデータベース (NETIS) に登録されている申請情報 (技術) のうち、画期的な新技術として2015年度の「推奨技術」に選定された

## 特長

- ① 粉塵や騒音の発生を低減
- ② 4種ケレン程度の素地調整で高レベルな下地づくりが可能
- ③ さび層に浸透し、脆弱層を強化
- ④ さび層中の水分を除去
- ⑤ さび層中の腐食性イオンを無害化

- 簡単な表面処理 (さび等の除去) 後の塗布のみでのさび止め効果の実現
- 従来の電動工具処理等がかかっていた時間・コストを削減できるうえ、処理で生じる粉塵や騒音を抑制、火花の発生を防止
- 化学プラントのタンク等において安全な塗装作業をサポートすることが可能

## 塗布形素地調整剤のメカニズム



本日はありがとうございました



## 彩り企業、DNT。

IRに関するお問い合わせ先

**大日本塗料株式会社 管理本部 総務部**

電話: 06-6466-6661

e-mail: [dnt-sou@star.dnt.co.jp](mailto:dnt-sou@star.dnt.co.jp)

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。